

袋井駅周辺バリアフリー基本構想への
ご意見ありがとうございました

57件の意見をいただきました

④ 都市計画課 駅南整備室 ☎ 443163

近年、ノーマライゼーション（1）の理念が浸透しつつあり、すべての人が生活しやすいバリアフリー（2）社会、ユニバーサルデザイン（3）の実践が求められています。

市では、バリアフリー社会の実現に向けて、JR袋井駅周辺の道路、駅前広場、公共的施設などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、「袋井駅周辺バリアフリー基本構想」を策定します。

皆さんからいただいた意見などを参考にし、策定を進めていきます。ご意見ありがとうございました。



意見募集期間

平成18年12月14日～1月10日

意見件数

57件（69人）

意見分類

提案 17件

要望 40件

意見の内訳

基本構想に関するもの…1件

重点生活関連施設に関するもの…18件

生活関連施設に関するもの…3件

生活関連施設以外の施設などに関するもの…7件

生活関連経路に関するもの…4件

JR袋井駅周辺の道路整備に関するもの…4件

その他…3件

交通安全施設の充実に関するもの…12件

バリアフリーへの意識向上に関するもの…5件

その他…3件

意見の取り扱い

基本構想に既に記載してあるもの…23件

構想策定の参考とするもの…34件

寄せられた主な意見

JR袋井駅のバリアフリー化を進めてほしい。

JR袋井駅前広場と南口駅前広場には、歩行者や高齢者、障害者など利用者に優しい設備を設けてほしい。

JR袋井駅周辺は、バス停や送迎用停車スペースを確保してほしい。

施設などの案内表示は、日本語だけでなく外国語による表示をしたらどうか。

視覚障害者誘導ブロックや警告ブロックは、設置前に障害者の意見を聞いてほしい。

思いやりなど心のバリアフリー啓発も積極的に進めてほしい。

公共施設だけでなく多くの人が利用する民間施設もバリアフリー化を進めてほしい。

意見の公表

皆さんからいただいた意見や意見に対する市の考え方などは、市ホームページ（<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>）や市役所2階情報公開コーナーでご覧いただけます。

用語解説

（1）ノーマライゼーション

高齢者や障害者など社会的に不利を受けやすい人々が、社会の中で、ほかの人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方。

（2）バリアフリー

高齢者や障害者の皆さんが社会生活をする上で支障となる物理的、精神的な障壁を取り除くこと。

（3）ユニバーサルデザイン

製品、設備、施設、サービスなどを文化、言語の違い、老若男女といった差異、能力のいかに問わず、誰もが利用しやすいようにデザイン（設計）すること。